

山梨県水産技術センター・研究課題事前評価表  
山梨県水産技術センター課題評価委員会  
(平成27年8月21日開催)

## 試験・研究課題名

大課題名：養殖効率の向上

小課題名：特定波長光による効率的なニジマス養殖技術の開発(H28～30)

担当者名：研究員 三浦 正之

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	ニジマスの生産効率の上昇を目指した本課題は山梨県の養殖産業に非常に有意義な研究である。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	淡水魚で初の光とホルモン、成長の関係を探る研究であり、新規性は高い。
3 目的・内容の整合性 妥当性	4 / 5	概ね妥当である。mRNAの測定に加え、対象ホルモンの測定や投与も検討して欲しい。また、生産効率の評価法についても十分検討して欲しい。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	北里大や企業と十分な研究協力体制がとれている。光が肉質に及ぼす影響も評価して欲しい。
5 成果の期待度	5 / 5	甲斐サーモンの生産効率に貢献する研究であり期待度は大きい。
総合評価	5 / 5	県産ブランドニジマスの確立に資する研究である。

## 「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

## 試験研究機関の処置

を行うとともに、ホルモンの直接投与の可能性についても検討して参りたい。生産効率の評価法については、結果を養殖業者に数値等でわかりやすく示せる手法となるよう配慮する。また、特定波長光の成長への影響が明らかになった段階で味や肉質等への影響も調べることにしたい。